

がれき撤去作業等の感染症予防について

◇ 作業時は、手袋をつけるなど、素肌を露出しないように！

がれきの中には、先のとがったもの、釘や棘の出ている木材など、けがをしやすいものが含まれ、細菌で汚染されています。

破傷風菌は、傷口から体に入り、全身の筋肉をけいれんさせ、呼吸をまひさせることがあるため、けがをしないように注意が必要です。

水や土で汚染された廃材を直接さわったり、釘を踏まないように、長そで、長ズボンの服装で、破れにくい丈夫な手袋や靴下、長靴を身につけてください。

◇ 作業中は、必ずマスクを！

健康な人には感染症を起こさない菌でも、避難生活で体力や免疫が低下すると、病気を引き起こすことがあります。

そのひとつであるレジオネラ菌は、土の中や川の水などに生息しているため、舞い上がったほこりや飛び散った水が口から入らないように、マスクをすることが重要です。

また、作業中は汚れた手で目や口を直接さわらないようにしてください。

◇ 作業が終了したら、必ず手洗いを！

作業が終わったら、手袋をはずし、石けんと流水でよく手を洗ってください。どうしても手洗いの水がない場合には、ウェットティッシュなどで十分に汚れを落とし、アルコール消毒液を使いましょう。

◇ 作業中にけがをした場合は、すぐに手当し、必要に応じ診療を！

ガラスでけがをしたり、棘が刺さったりした場合には、いったん作業を中止し、傷を流水でよく洗い、絆創膏などで保護しましょう。

傷が深い場合や、棘が残ってしまったり、傷に泥などが入り込んだ場合には、感染症にかかる恐れもあるため、早めに診療を受けましょう。

◇ 山林や雑木林の近くで作業する時は、マダニ等に注意を！

病原体を保有しているマダニ等に咬まれると、日本紅斑熱やツツガムシ病などの感染症にかかる可能性があります。

長そで、長ズボン、手袋、帽子等を着用し、素肌の露出をしないようにしましょう。可能であれば、虫よけスプレーの使用が望まれます。

マダニ等の多くは、人や動物に取りつくと、皮膚にしっかりと咬みつき、長時間吸血します。マダニに咬まれたあとに、発熱等の症状があった場合には、速やかに診療を受けましょう。